令和7年度　次世代創出PBL推進事業

# 実施報告書 【学校課題実践校用】

| | |
|---|---|
| 学校番号 | 50 |
| 学校名 | 富山県立富山総合支援学校 |

| | |
|---|---|
| 学校の現状と課題 | 本校は、小学部から高等部で肢体不自由の児童生徒を、高等部で軽度知的障害の生徒を対象として教育を行っている。年々、児童生徒の障害の状態が多様化しており、児童生徒の12年間の学びを見通し卒業後の生活に必要な資質・能力を育むため、個に応じた指導・支援のさらなる充実が必要である。その核となるのが自立活動の指導であるが、的確な実態把握や目標の設定、評価や指導方法の検討に難しさを感じている教員が多くいる。<br>そこで、本校では、令和6年度から、自立活動の流れ図の作成を通して、実態把握から目標、指導場面の設定を行う方法を確認し、実際の指導に結び付けてきた。今年度は、さらに実践に生かせるよう、流れ図により設定した指導場面や対象児童生徒に関わる授業を互いに参観し合い、指導方法を検討することを考えている。実態把握や指導方法の検討に当たり、外部の専門家による指導を受けることで、教職員の専門性の向上を図り、より個に応じた指導に結び付け、児童生徒が主体的に学ぶ意欲を育むことができればと考えた。 |
| テーマ（特色） | 主体的に学ぶ意欲を育む自立活動の指導<br>－　明確な目標設定と目標を具体的な指導内容につなげる取組を通して　－ |
| 設定した「テーマ」の達成状況 | 児童生徒の主体的に学ぶ意欲を育むことを目指し、一人一人の実態に応じた指導・支援が行えるように、流れ図を作成して目標を設定し、具体的な指導内容を導き出して、授業実践を行った。特に、身体的支援を多く要する児童生徒の指導・支援について、外部専門家の指導を受けることで、より目標に迫るための指導・支援を行うことにつながった。受けた指導は、動画等を用いて多くの教員に共有され、実践に生かされた。各教員の専門性が向上し、児童生徒が主体的に学ぶ意欲を育むことにもつながったと考える。 |
| 実施内容<br>（具体的に記入する） | ○各学部、小グループでの事例検討<br>・対象児童生徒を決め、自立活動目標・内容設定シート（流れ図）を作成し、目標についての具体的な指導内容の指導場面、指導方法、評価（記録）方法を設定した。<br>・対象児童生徒の指導に生かすため、グループ内で自立活動や教科等の授業を参観し合った。<br>・対象児童生徒の指導をPDCAサイクルで行い、グループで指導実践の進捗状況を共有し、指導方法等を検討した。<br>・目標の達成に向けての各指導が、対象児童生徒の主体的に学ぶ意欲を育む指導となっていたか検証した。<br>○外部専門家による指導<br>対象児童生徒を挙げ、以下の点について、大学教授より実技を中心に指導を受けた。事後に、動画を用いて指導を受けた内容を他の教員に共有した。<br>・排痰を促し、褥瘡を予防するための効果的な体位変換の方法<br>・臥位で過ごすことが多い児童の健康増進につながり、身体の拘縮を防ぐための有効な支援の方法<br>・日常生活動作を維持するために必要なこと、歩行喪失時期に学校でできることや支援の注意点<br>・側わんの進行予防に有効な支援・活動<br>・深い呼吸のための姿勢の取り方<br>・座位姿勢の保持、改善のための支援<br>・車椅子座位での上体の姿勢保持のための補助具や支援方法<br>・本人に負担のかからない注入時の姿勢や支援方法<br>・筋緊張が強まりにくい姿勢や支援、筋緊張を緩める効果的な支援<br>○教材教具の整備<br>・大学教授からの指導助言を参考に、紹介のあった教材を購入し、授業実践を行った。 |
| 取組による成果<br>（プロジェクト学習推進の観点から） | 各グループで、研修の流れに沿って事例検討、授業実践を行い、児童生徒の主体性を引き出すための具体的な指導の工夫や手立てについて整理し、以下のような点が共通して有効で、必要であると分かった。<br>・児童生徒の好きなものや動かしやすい部位、不快な刺激などを把握すること<br>・児童生徒が「できた」と思える物理的・心理的環境の設定<br>・教師間・職員間で褒めるポイントや支援量を統一すること<br>解明した有効な指導の工夫や手立ては、教職員間で共通理解した。研修では、教職員それぞれが、事例対象である児童生徒に関わる授業を担当したり参観したりしていたため、自分事として今後の実践に生かせるものと考える。<br>児童生徒の身体面への支援について、校内の教員の指導力では不十分な点について大学教授から指導を受けることができた。実技指導を受けた教員が他の教員に伝え、すぐに担当する児童生徒の指導・支援に生かしており、長年課題となっていた姿勢が良くなった生徒もいる。受けた指導は他の児童生徒にも生かすことができ、自立活動を主とする教育課程で学ぶ児童生徒を中心に、目標達成のための手立ての一つとして取り入れられ、たいへん有意義であった。また、紹介を受けた教材教具も、事例対象の児童生徒から指導方法とともに広がり、指導書も参考にして、授業に取り入れられている。 |
| 対象者（学年・人数など） | 本校児童生徒、教職員　約160名 |

| 実施実績 | |
|---|---|
| 4月 | |
| 5月 | 対象児童生徒の選出　自立活動目標・内容設定シートの作成 |
| 6月 | 自立活動目標・内容設定シートの作成　指導方法、評価方法の検討　授業実践　外部専門家による指導 |
| 7月 | 指導の情報共有　授業実践・振り返り　対象児童生徒の「主体的に学ぶ姿」検討 |
| 8月 | 自立活動の指導事後検討　授業実践の振り返り |
| 9月 | 指導の情報共有　授業実践・振り返り |
| 10月 | 指導の情報共有　授業実践・振り返り |
| 11月 | 指導の情報共有　授業実践・振り返り　指導のまとめ |
| 12月 | 指導の情報共有　授業実践・振り返り　指導のまとめ |
| 1月 | 指導のまとめ |
| 2月 | 指導のまとめ　情報交換 |
| 3月 | |